

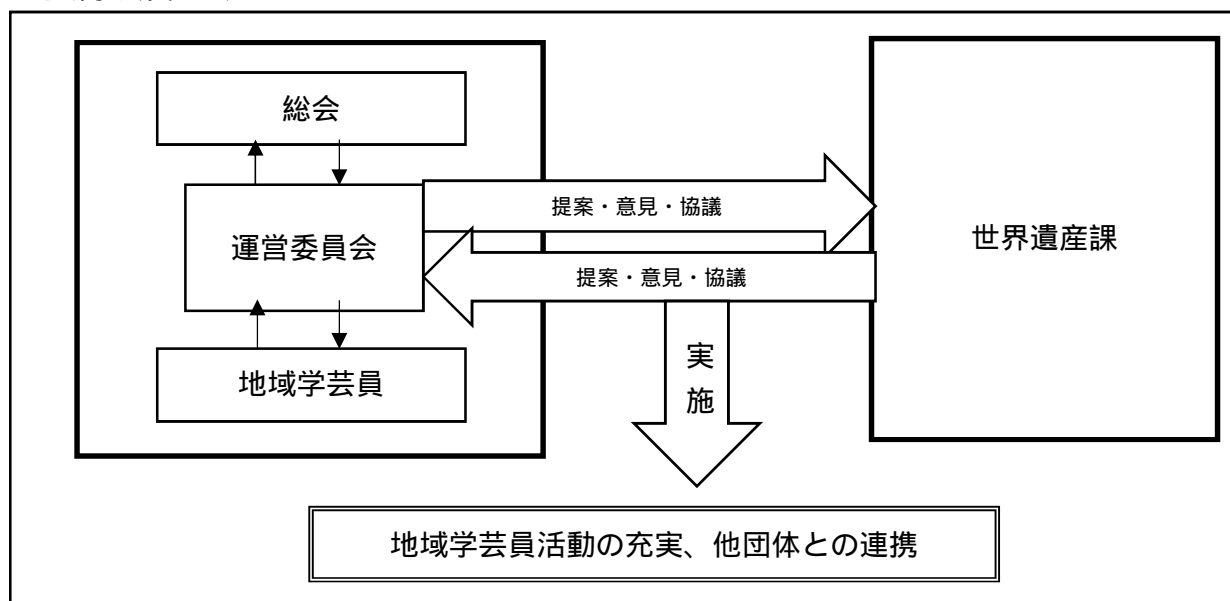
地域学芸員について

1. 地域学芸員の役割

所定の養成講座を修了したボランティアの解説員。現在 75 人が登録し、主に次の活動を行っている。

- (1) 海の道むなかた館での展示解説・体験学習の指導
- (2) 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群に関する解説
- (3) 学校が行う世界遺産学習等の指導・支援
- (4) 歴史文化に関する市民活動団体等との連携

2. 地域学芸員の会



3. 令和4年度の主な事業

(1) 第4期地域学芸員養成講座の開催...計 15 人修了予定

講義編	第1回	10月6日(木)	開講式、館長講演
	第2回	10月13日(木)	地域の文化財1
	第3回	10月20日(木)	地域の文化財2
	第4回	10月27日(木)	地域の文化財3
	第5回	11月10日(木)	世界遺産1
	第6回	11月17日(木)	世界遺産2
	第7回	11月24日(木)	宗像大社・神宝館
	第8回	12月1日(木)	体験学習
	第9回	12月8日(木)	接遇研修
	第10回	12月15日(木)	館内展示解説、閉講式
実践編	実践研修	1～3月	展示解説・体験学習の実践研修(3か月で延べ9回実施)
	大島研修	3月2日(木)	中津宮等の大島に関する実地研修

(2) 運営委員会において協議し、次の研修を企画提案して実施

接客研修、 体験学習研修、 世界遺産研修、 ハラスメント研修、 九州国立博物館特別
展視察研修、 館長講話、 ハルカムナカタ座談会(保存活用協議会事業)研修、 大島研修、
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群特別研究事業成果報告会(保存活用協議会事業)研修

(3) 運営委員会において協議し、プロジェクトチームを立ち上げて次の事業を実施

夏の課外授業で「明かりの絵灯籠をつくろう！」を実施

海の道むなかた館秋まつりで「みんなで灯そう！光の灯籠」を実施

海の道むなかた館冬まつりで「門松をつくろう！」・「しめ飾りをつくろう！」を実施